

仕訳明細データを取り込む

ここでは、仕訳明細データを取り込む方法についてご紹介いたします。

1. 取り込むことのできる仕訳明細データ

- ・ CASH RADAR PBS(NMC)の仕訳日記帳でエクスポートしたファイル

2. 取り込むことのできる明細データの期間

- ・ 発展会計でその企業の設定している期中のデータ

(但し、発展会計側で期間指定外のデータは取り込む事ができません)

3. 取り込むことのできる明細データの量

- ・ 制限はありません。

4. 取り込む明細データの形式

- ・ CASH RADAR PBS の仕訳日記帳でエクスポートしたファイル

(ファイル名は任意)

5. 明細データの内容

- ・ 後述のデータフォーマットのとおり

取込方法

◆CASH RADAR PBS の仕訳日記帳をエクスポートします。

以下の形式で出力してください。

必須	項目名称	貸借	桁数	処理詳細
A	E/U 付箋			取込対象外
B	A/O 付箋			取込対象外
C	複合仕訳			取込対象外
D	決算修正仕訳		2	値が「決算」なら決算仕訳として取り込む
E	削除		2	値が「削除」ならそのデータを取込対象外とする
F	○ 日付		11	値の形式は「YYYY/MM/DD」。伝票日付として取り込む
G	登録 No		4	日付と登録 No で同一伝票かを判断する
H	摘要コード			取込対象外
I	摘要名	貸借	96	貸借両方に
J	取引コード			取込対象外
K	取引先名			取込対象外
L	○ 借方_勘定科目コード	借方	4	
M	借方_勘定科目名			取込対象外
N	借方_補助科目コード	借方	4	補助科目管理有りの科目で補助科目コードが空白の場合は「その他」で取り込む
O	借方_補助科目名			取込対象外
P	借方_消費税区分コード	借方	3	消費税区分コード、消費税率、税表示区分の組み合わせで税区分を決定して取込む
Q	借方_消費税名			取込対象外
R	借方_消費税率	借方	1	消費税区分コード、消費税率、税表示区分の組み合わせで税区分を決定して取込む
S	借方_税表示区分	借方	1	消費税区分コード、消費税率、税表示区分の組み合わせで税区分を決定して取込む
T	借方_税表示区分名			取込対象外
U	借方_部門コード	借方	4	部門管理有りの科目で部門コードが空白の場合は「その他」で取り込む
V	借方_部門名			取込対象外
W	借方_税込金額			取込対象外
X	○ 借方_税抜金額	借方	11	
Y	借方_消費税金額	借方	11	
Z	○ 貸方_勘定科目コード	貸方	4	

AA		貸方_勘定科目名			取込対象外
AB		貸方_補助科目コード	貸方	4	補助科目管理有りの科目で補助科目コードが空白の場合は「その他」で取り込む
AC		貸方_補助科目名			取込対象外
AD		貸方_消費税区分コード	貸方	3	部門管理有りの科目で部門コードが空白の場合は「その他」で取り込む
AE		貸方_消費税名			取込対象外
AF		貸方_消費税率	貸方	1	
AG		貸方_税表示区分	貸方	1	
AH		貸方_税表示区分名			取込対象外
AI		貸方_部門コード	貸方	4	部門管理有りの科目で部門コードが空白の場合は「その他」で取り込む
AJ		貸方_部門名			取込対象外
AK		貸方_税込金額			取込対象外
AL	○	貸方_税抜金額	貸方	11	
AM		貸方_消費税金額	貸方	11	
AN		証 No			取込対象外
AO		E/U 付箋			取込対象外
AP		A/O 付箋			取込対象外

◆ ※ 1 取引先管理有りの場合、取引先は「その他」で取込が行われます。

◆ ※ 2 科目コード、補助科目コード、部門コードは発展会計のコードを指定してください。

◆ 発展会計のマスタを設定します。

- ・ 年度別会計マスタ登録・・・部門管理を行うかどうかを決定します。部門管理を行う場合は、「部門管理有り」にチェックを入れてください。
- ・ 科目マスタ登録・・・勘定科目の設定を行います。CASH RADAR PBS の勘定科目名称と発展会計の勘定科目の正式名称を一致させます。間違えない様に登録してください。また、CASH RADAR PBS で補助科目管理、部門管理をしていた勘定科目については、「補助科目あり」、「部門管理あり」と設定してください。また、消費税区分も設定してください。
- ・ 補助マスタ登録・・・補助科目の設定を行います。CASH RADAR PBS の補助科目名称と発展会計の補助科目の正式名称を一致させます。間違えないように登録してください。
- ・ 部門マスタ登録・・・部門の設定を行います。CASH RADAR PBS の部門名称と発展会計の部門の正式名称を一致させます。間違えないように登録してください。

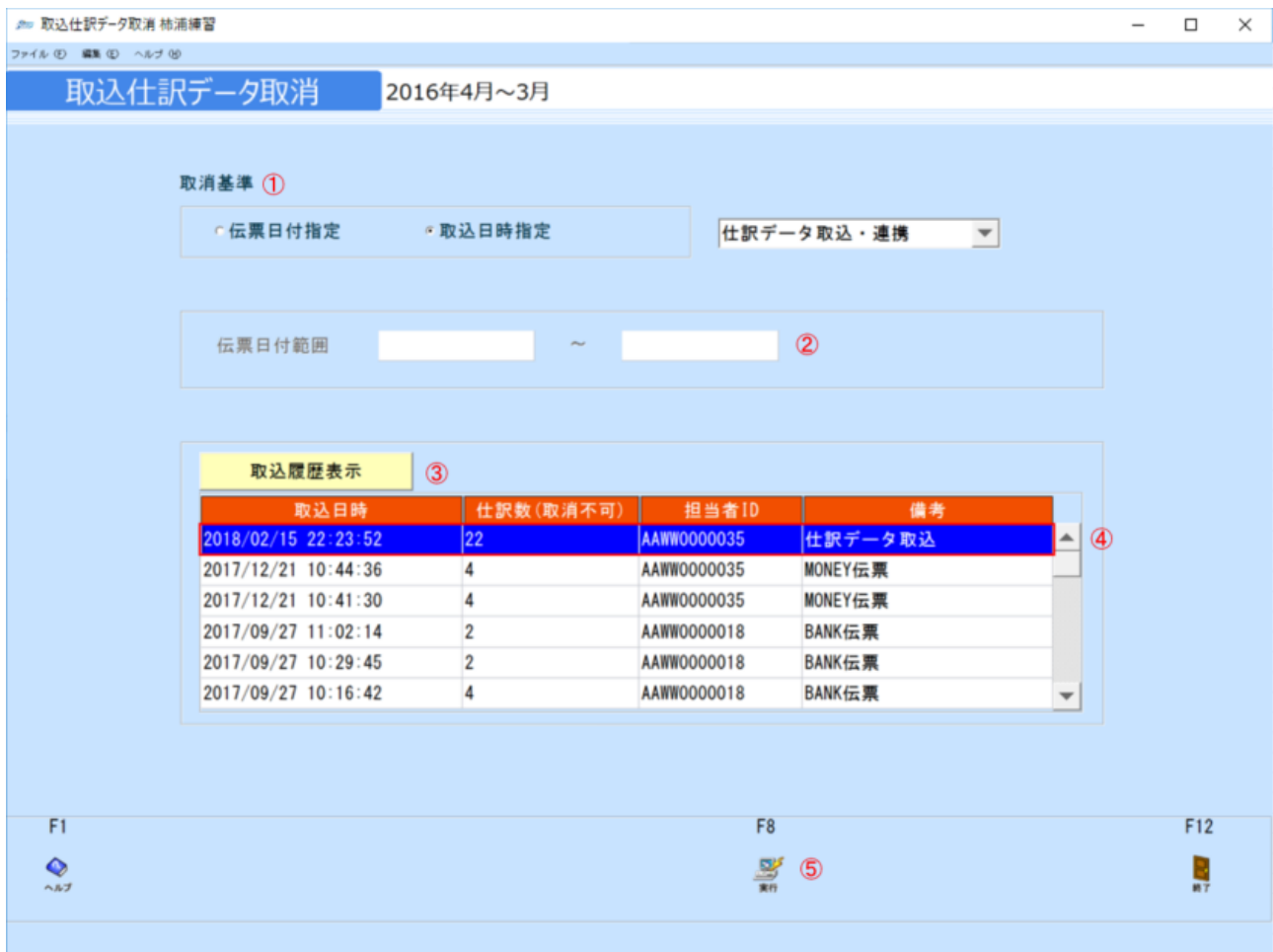
- ◆ 発展会計の「仕訳データ取込」で仕訳データを取り込みます。

取込期間を指定して、必要なデータを取り込みます。



1. システムの種類(①)を選択します。(CASH RADAR PBS 仕訳日記帳) (①)
2. 取込む伝票の期間を指定する場合には「期間指定」にチェックを入れます。(②)
3. 取り込み対象とする伝票日付範囲を入力します。(③)エクスポートファイルに指定範囲外のデータがあっても、そのデータは取り込みません。
4. 指定期間内に既に存在する取込データを削除する場合にチェックを入れてください。(④)
5. 取り込むファイルを指定します。(⑤)
6. CASH RADAR PBS の場合は選択できません。(⑥)
7. 取込後、取り込み元のデータファイルを削除する場合にチェックを入れます。(⑦)
8. 文字コードを選択します (⑧) ※通常は変更なしで大丈夫です。
9. 実行(⑨)を実行します。

- ◆ 科目の不整合などで間違えて取り込んでしまった際に、取込期間または、実施した期間を指定して、取り込んだデータを削除します。該当期間に発展会計にて入力した仕訳については削除されません。



- 1.取込基準(①)を選択します。
- 2.①で伝票日付指定を選択した場合、伝票日付範囲を入力します。(②)
- 3.①で取込日時指定を選択した場合、取込履歴表示(③)を押します。
- 4.取込日時を選択します。(④)
- 5.実行(⑤)を実行します。

Q & A

- ・ 正しくデータが取り込めたかどうか確認したい。

仕訳チェックリストをご利用ください。印刷条件指定の画面で、伝票の計上日付の範囲を指定した上で、右下の「伝票」から取込伝票を選択してください。取り込まれた伝票のみが表示されます。

- ・ ある期間までのデータが取り込まれていない。

会計事務所側で入力制限がかかっている可能性があります。

- ◆ 顧問先様・・・会計事務所にお問い合わせ下さい。
- ◆ 会計事務所様・・・会計事務所メニューの進捗-入力、進捗-監査をご確認下さい。該当する期間で入力制限を加えている場合は、制限を解除して、仕訳データ取り込みを実施してください。

- ・ 補助科目あり（CASH RADAR PBS）⇒補助科目なし（発展会計）にしたい。

警告エラーが出ますが、取り込むことが可能です。

- ・ 補助科目なし（CASH RADAR PBS）⇒補助科目あり（発展会計）にしたい。

補助科目がないエクスポートファイルから、科目マスタ登録で「補助科目あり」の設定をしている勘定科目に、データを取り込むとすべて「その他」で取り込みます。

以上